

令和元年6月

# 平成30年度事業報告書

平成 30 年度に日本戦没者遺骨収集推進協会（以下「本協会」と言う。）が実施した事業の概要は、次のとおりである。

## 1. 戦没者の遺骨収集のために必要な情報の収集

### （1）国立公文書館等における資料調査

米国カリフォルニア州に所在する海軍設営隊博物館への資料調査を 2 回計画していたが、同館の一般公開が実現しなかったため、見送ることとなった。

### （2）戦没者の遺骨収集を実施する地域における現地調査等

戦没者の遺骨収集を実施する地域においては、本邦からの派遣者による現地調査に加え、より実効性を高めるため平成 29 年度までは、マリアナ諸島、ミャンマー、東部ニューギニア等に現地調査員等を配置していたが、平成 30 年度は新たにソロモン諸島（ガダルカナル島）、マリアナ諸島（グアム島）、及びインドに調査員を配置した。

## 2. 遺骨情報の現地調査事業

### （1）実施報告

この事業は平成 28 年度までは、未送還遺骨情報収集事業として国が団体（全団体が本協会の社員となった）に直接委託契約をしていたが、平成 29 年度からは、本協会が現地の遺骨情報も一括して委託され、現地調査事業として実施することとなった。

平成 30 年度は、マリアナ諸島、ミャンマー、パラオ諸島、旧ソ連（5 地域）、東部ニューギニア、ビスマーク・ソロモン諸島、インド、マーシャル諸島、国内馬毛島（鹿児島県）9 地域に 36 組 196 人を派遣した。なお、インド現地調査（第 2 次）は中止とし、予定していた遺骨収集派遣を変更し第 3 次現地調査として実施した。また、厚生労働省主体の調査派遣、旧ソ連（5 地域）及び国内馬毛島（鹿児島県）に同行した。

詳細は別紙 1 のとおり。

### （2）実施状況

派遣区分	派遣日程	日数	派遣体制
マリアナ諸島現地調査 （第 1 次派遣）	6 月 6 日 ～ 6 月 25 日	20 日間	9 名
マリアナ諸島現地調査 （第 2 次派遣）	7 月 6 日 ～ 7 月 12 日	7 日間	4 名

マリアナ諸島現地調査 (第3次派遣)	8月19日 ~ 8月30日	12日間	6名
マリアナ諸島現地調査 (第4次派遣)	10月1日 ~ 10月11日	11日間	4名
マリアナ諸島現地調査 (第5次派遣)	1月21日 ~ 1月24日	4日間	4名
マリアナ諸島現地調査 (第6次派遣)	3月17日 ~ 3月28日	12日間	8名
ミャンマー現地調査 (第1次派遣)	10月20日 ~ 11月9日	21日間	9名
ミャンマー現地調査 (第2次派遣)	12月19日 ~ 12月27日	9日間	4名
ミャンマー現地調査 (第1次派遣、補足派遣)	1月21日 ~ 2月3日	14日間	5名
ミャンマー現地調査 (第3次派遣)	2月6日 ~ 2月17日	12日間	5名
パラオ諸島現地調査 (第1次派遣)	5月27日 ~ 6月6日	11日間	5名
パラオ諸島現地調査 (第2次派遣)	7月12日 ~ 7月26日	15日間	10名
パラオ諸島現地調査 (第3次派遣)	9月19日 ~ 10月1日	13日間	10名
パラオ諸島現地調査 (第4次派遣)	3月3日 ~ 3月13日	11日間	12名
旧ソ連抑留中死亡者遺骨収集 事前協議・埋葬地調査派遣 (ハバロフスク地方)	5月27日 ~ 6月5日	10日間	1名
旧ソ連抑留中死亡者遺骨収集 事前協議・埋葬地調査派遣 (ザバイカル地方)	5月29日 ~ 6月10日	13日間	1名
旧ソ連抑留中死亡者遺骨収集 事前協議・埋葬地調査派遣 (クラスノヤルスク地方)	6月10日 ~ 6月19日	10日間	1名
旧ソ連抑留中死亡者遺骨収集 事前協議・埋葬地調査派遣 (ブリヤート共和国・イルクーツク州)	6月24日 ~ 7月5日	12日間	1名
旧ソ連抑留中死亡者遺骨収集 埋葬地調査派遣 (カザフスタン共和国)	10月15日 ~ 11月1日	18日間	1名

東部ニューギニア現地調査 (第1次派遣)	6月9日 ~ 6月16日	8日間	4名
東部ニューギニア現地調査 (第2次派遣)	7月14日 ~ 7月25日	12日間	7名
東部ニューギニア現地調査 (第3次派遣)	8月25日 ~ 9月12日	19日間	6名
東部ニューギニア現地調査 (第4次派遣)	11月24日 ~ 12月6日	13日間	6名
東部ニューギニア現地調査 (第5次派遣)	12月8日 ~ 12月20日	13日間	5名
東部ニューギニア現地調査 (第6次派遣)	1月12日 ~ 1月27日	16日間	5名
ビスマーク・ソロモン諸島 現地調査 (第1次派遣)	6月16日 ~ 6月27日	12日間	6名
ビスマーク・ソロモン諸島 現地調査 (第2次派遣)	7月21日 ~ 8月9日	20日間	6名
ビスマーク・ソロモン諸島 現地調査 (第3次派遣)	9月15日 ~ 9月29日	15日間	15名
ビスマーク・ソロモン諸島 現地調査 (第4次派遣)	11月14日 ~ 11月28日	15日間	4名
ビスマーク・ソロモン諸島 現地調査 (第5次派遣)	11月24日 ~ 12月9日	16日間	6名
ビスマーク・ソロモン諸島 現地調査 (第6次派遣)	1月26日 ~ 2月9日	15日間	8名
インド現地調査 (第1次派遣)	10月14日 ~ 10月30日	17日間	5名
インド現地調査 (第3次派遣)	1月27日 ~ 2月8日	13日間	6名
マーシャル諸島現地調査	11月4日 ~ 11月16日	13日間	4名
鹿児島県西之表市戦没者遺骨に 係る現地調査派遣	6月28日 ~ 6月29日	2日間	1名
鹿児島県西之表市馬毛島遺骨収集 調査派遣	10月30日 ~ 11月2日	4日間	2名
9地域 36回			196名

### 3. 戦没者の遺骨の収容や本邦への帰還事業

#### (1) 実施報告

平成 30 年度は戦没者の遺骨収集を実施した結果、総計 818 柱を本邦へ送還した。派遣人員は社員団体所属会員及び団体会員並びに本協会職員を併せ延べ 258 人 30 組の派遣団を硫黄島、旧ソ連、ビスマルク・ソロモン諸島、トラック諸島、パラオ諸島、東部ニューギニア、マーシャル諸島、ミャンマーの 9 地域へ派遣した。

詳細は別紙 2 のとおり。

#### (2) 実施状況

派遣区分	派遣日程	日数	派遣体制	収容柱数
				送還柱数
硫黄島戦没者遺骨収集派遣 (第 1 回収集)	6 月 26 日 ～ 7 月 11 日	16 日間	31 名	29 柱
				0 柱
硫黄島戦没者遺骨収集派遣 (第 3 回収集)	11 月 27 日 ～ 12 月 12 日	16 日間	33 名	6 柱
				0 柱
硫黄島戦没者遺骨収集派遣 (第 4 回収集)	1 月 29 日 ～ 2 月 14 日	17 日間	32 名	7 柱
				42 柱
硫黄島戦没者遺骨収集派遣 (第 2 回掘削立会)	6 月 10 日 ～ 6 月 25 日	16 日間	3 名	0 柱
硫黄島戦没者遺骨収集派遣 (第 3 回掘削立会)	6 月 24 日 ～ 7 月 9 日	16 日間	4 名	0 柱
硫黄島戦没者遺骨収集派遣 (第 4 回掘削立会)	7 月 8 日 ～ 7 月 30 日	23 日間	2 名	0 柱
硫黄島戦没者遺骨収集派遣 (第 6 回掘削立会)	8 月 5 日 ～ 8 月 21 日	17 日間	3 名	0 柱
硫黄島戦没者遺骨収集派遣 (第 7 回掘削立会)	8 月 19 日 ～ 9 月 3 日	16 日間	3 名	0 柱
硫黄島戦没者遺骨収集派遣 (第 8 回掘削立会)	9 月 2 日 ～ 9 月 14 日	13 日間	3 名	0 柱
硫黄島戦没者遺骨収集派遣 (第 9 回掘削立会)	9 月 12 日 ～ 10 月 1 日	20 日間	3 名	0 柱
硫黄島戦没者遺骨収集派遣 (第 11 回掘削立会)	10 月 14 日 ～ 10 月 29 日	16 日間	3 名	0 柱
硫黄島戦没者遺骨収集派遣 (第 12 回掘削立会)	10 月 28 日 ～ 11 月 14 日	18 日間	3 名	0 柱

硫黄島戦没者遺骨収集派遣 (第13回掘削立会)	11月18日～12月6日	19日間	3名	0柱
硫黄島戦没者遺骨収集派遣 (第14回掘削立会)	12月6日～12月17日	12日間	3名	0柱
硫黄島戦没者遺骨収集派遣 (第15回掘削立会)	1月14日～1月28日	15日間	3名	0柱
硫黄島戦没者遺骨収集派遣 (第16回掘削立会)	1月27日～2月13日	18日間	3名	0柱
硫黄島戦没者遺骨収集派遣 (第1回収集事前調査)	6月3日～6月12日	10日間	1名	0柱
旧ソ連抑留中死亡者遺骨収集派遣 (ハバロフスク地方：第1次)	7月23日～8月8日	17日間	8名	43柱
				43柱
旧ソ連抑留中死亡者遺骨収集派遣 (ハバロフスク地方：第2次)	8月27日～9月12日	17日間	12名	31柱
				31柱
旧ソ連抑留中死亡者遺骨収集派遣 (ザバイカル地方)	7月23日～8月8日	17日間	7名	27柱
				27柱
旧ソ連抑留中死亡者遺骨収集派遣 (クラスノヤルスク地方)	8月6日～8月22日	17日間	7名	11柱
				11柱
旧ソ連抑留中死亡者遺骨収集派遣 (ブリヤート共和国)	8月6日～8月22日	17日間	6名	0柱
				0柱
樺太・占守島戦没者遺骨収集派遣	11月13日～11月22日	10日間	6名	2柱
				2柱
ビスマーク・ソロモン諸島 戦没者遺骨収集派遣(第1次)	9月12日～9月30日	19日間	11名	88柱
				88柱
ビスマーク・ソロモン諸島 戦没者遺骨収集派遣(第2次)	2月27日～3月14日	16日間	16名	406柱
				406柱
トラック諸島戦没者遺骨収集 応急派遣	10月30日～11月8日	10日間	4名	3柱
				3柱
パラオ諸島戦没者遺骨収集派遣	12月1日～12月13日	13日間	11名	45柱
				45柱
東部ニューギニア戦没者遺骨 収集派遣	2月13日～2月28日	16日間	19名	42柱
				42柱
マーシャル諸島戦没者遺骨収集派遣	2月20日～3月7日	16日間	6名	48柱
				48柱

ミャンマー戦没者遺骨収集派遣	3月1日 ～ 3月14日	14日間	9名	30柱
				30柱
9地域30派遣			258名	818柱
				818柱

#### 4. 法人及び事務局の運営

##### 【旅行業者の選定】

平成30年4月以降、現地調査事業及び遺骨収集事業の実施にかかる旅行業者を本協会ホームページで公募し、入札額等を勘案して選定した。

選定結果は以下のとおり。

##### (現地調査事業)

マリアナ諸島第1次～3次	名鉄観光
マリアナ諸島第4～6次	名鉄観光
ミャンマー第1次、第1次補足、2次、3次	東武トップツアーズ東京法人東事業部
パラオ第1次～4次	アイザヤジャパン
東部ニューギニア第1～3次	名鉄観光
東部ニューギニア第4～6次	名鉄観光
ビスマーク・ソロモン諸島第1～3次	名鉄観光
ビスマーク・ソロモン諸島第4～6次	名鉄観光
インド第1次	東武トップツアーズ東京法人東事業部
インド第3次	エムオーツーリスト
マーシャル諸島	東武トップツアーズ東京法人東事業部

##### (遺骨収集事業)

旧ソ連 (ハバロフスク第1次、2次)	小田急トラベル
旧ソ連 (ザバイカル地方)	エムオーツーリスト
旧ソ連 (クラスノヤルスク地方、ブリヤト共和国)	東武トップツアーズ東京法人東事業部
樺太・占守島	エムオーツーリスト
ビスマーク・ソロモン諸島第1次	名鉄観光
ビスマーク・ソロモン諸島第2次	名鉄観光
トラック諸島	小田急トラベル
パラオ諸島	名鉄観光
東部ニューギニア	名鉄観光
マーシャル諸島	東武トップツアーズ東京法人東事業部
ミャンマー	東武トップツアーズ東京法人東事業部

### 【第10回臨時理事会】

4月10日、理事10名及び監事の出席により本協会4階で開催した。「平成30年度収支予算案」について審議した他、31年度概算要求に対する要望事項の取りまとめが確認された。

### 【会計検査院による会計検査】

4月12日、4月13日の2日間、会計検査院による会計検査があった。

### 【第11回定時理事会】

6月6日、本協会4階にて理事10名及び監事1名が出席して開催した。

第1号議案「平成29年度事業報告案」、第2号議案「平成29年度収支決算書案」、第3号議案「諸謝金支払規程の一部改正案」について審議した。

また、報告事項として、「会計規程細則の一部改正」、「旅費規程細則の一部改正」、「平成31年度予算要求へ向けての要望」、「代表理事の職務の執行状況の報告」について報告した。

### 【第5回定時社員総会】

6月26日、本協会4階にて11社員団体が出席して開催した。

第1号議案「平成29年度収支決算書案」、第2号議案「平成28年度決算の再修正案」、第3号議案「役員を選任」について審議した。

新たに理事12名、監事2名が選任された。

### 【第12回臨時理事会】

6月26日、本協会4階にて理事12名及び監事2名が出席して開催した。代表理事の互選等が諮られ、新たに就任した役員は次のとおり。

会 長	尾辻 秀久
副会長代表理事	眞野 章
副会長	水落 敏栄
専務理事（代表理事）	竹之下 和雄
理 事	伊藤 隆 森本 浩吉 住田 陸快 影山 幸雄
	岩渕 宣輝 寺本 鐵朗 赤木 衛 渡邊 榮樹
監 事	畔上 和男 井上 達昭

### 【指定法人指導監査】

7月17日、18日、本協会4階にて「平成30年度戦没者の遺骨収集に関する活動を行う指定法人指導監査」が行われた。

指導監査は、法13条第1項の規定に基づく立入検査を「戦没者の遺骨収集に関する活動を行う指定法人指導監査ガイドライン」に沿って実施された。指導結果は、平成29年度実績を対象とした指導監査において、会計処理に関する改善を指導する事項として2件の口頭指摘が確認された。

また、前回指導監査時の指摘事項については、全て改善されたことが確認された。

### 【指定法人への指導監督等に関する有識者会議】

9月6日、厚生労働省で「第2回戦没者遺骨収集推進法に基づく指定法人への指導監督等に関する有識者会議」が開催された。

大学教授、弁護士、公認会計士から5名の有識者で構成され、(1)第1回有識者会議における助言、意見の反映状況、(2)平成30年度指導監査の結果状況、(3)平成29年度戦没者遺骨収集事業について、(4)平成30年度予算、平成31年度概算要求について、(5)質疑、その他行政施策の状況について審議された。

### 【平成31年度遺骨収集関連予算要求説明会】

12月12日、本協会4階で厚生労働省から八神大臣官房審議官、泉企画課長、吉田事業課長が出席して平成31年度遺族援護関係予算概算要求の主要事項に関する説明及び本協会の平成30年度事業の経過報告が行われた。

### 【第13回定時理事会】

平成31年3月27日、本協会4階にて理事8名及び監事1名が出席して開催した。

第1号議案「2019年度事業計画案」、第2号議案「2019年度収支予算書案」、第3号議案「組織規程改正案」、第4号議案「臨時職員等就業規則改正案及び臨時職員等給与規程改正案」、第5号議案「会員加入申し込み団体及び社員移行希望団体の審査」について審議した。

また、報告事項として、第6号議案(報告)「職員給与改定の報告」、第7号議案(報告)「代表理事の職務執行状況」について報告した。

理事会終了後、任意による意見交換会が開催され、2020年度以降の予算に対する要望等を踏まえ協議した。

【本協会事務局職員の逝去】

職員

もりいち たけし  
盛一 丈嗣 氏 (64 才)

平成 30 年 6 月 18 日急逝

平成 30 年度ビスマーク・ソロモン諸島現地調査 (第 1 次派遣) ガダルカナル島

臨時嘱託職員 (遺骨鑑定専門員)

ならさき しゅういちろう  
檜崎 修一郎 氏 (60 才)

平成 31 年 3 月 21 日急逝

平成 30 年度マリアナ諸島現地調査 (第 6 次派遣) テニアン島